



いそべ圭太

横浜市議員(保土ヶ谷区)

横浜市議員(保土ヶ谷区)

いそべ圭太

プロフィール

磯部 圭太(いそべ けいた)
生年月日 昭和56年(1981年)8月26日
保土ヶ谷生まれ 保土ヶ谷育ち

主な経歴

昭和63年 3月 私立青葉幼稚園 卒園
平成 6年 3月 横浜市立星川小学校 卒業
平成 9年 3月 横浜市保土ヶ谷中学校 卒業
平成12年 3月 神奈川県保土ヶ谷高等学校 卒業
平成17年 3月 帝京大学法学部法律学科 卒業
～横浜市内の民間企業を経て～
平成23年 4月 横浜市議会議員選挙 初当選

議会活動

平成23年 5月 市民・文化観光・消防委員会 委員
基地対策特別委員会 委員
平成24年 5月 こども青少年・教育委員会 委員
減災対策推進特別委員会 委員
平成25年 5月 こども青少年教育委員会 副委員長
基地対策特別委員会 委員
平成26年 5月 建築・都市整備・道路委員会 委員
基地対策特別委員会 委員

地域活動・ボランティア活動

高校時代 生徒会長(大勢の仲間に支えられました。)
平成15年3月～平成21年4月 地元の市議会議員、県議会議員の下で選挙活動に参加。また、地方行政を学業の合間や仕事の休みの日に学びました。
平成16年4月～平成19年3月 地元自治会町内会の防犯防災部 副部長
公園問題対策検討委員会 委員 他
平成19年4月～ 公園などを中心とした夜間の自主防犯パトロール(声かけ活動)を実施中。
平成22年4月～ 青少年指導員(神奈川県・横浜市)

趣味

音楽鑑賞 クラシックから、ポップ、ロックなど幅広く何でも好みます。
音楽演奏 不定期ですが、バンド活動を行い、自らドラムを演奏します。
スポーツ観戦 大の野球好きです。そのほかにも、バスケット・サッカー・相撲・箱根駅伝などを観戦します。
その他 ドライブ・夜景巡り・旅行・ボウリング・釣り・映画鑑賞など



軽快にペダルをこぎ地域回り 決算委員会で当局の見解を問う 街頭での活動報告は欠かせません
地域の行事には積極的に参加 母校の記念式典で祝辞を述べる 地域は小回りの利くバイクを活用

いそべ圭太を応援しよう!
いそべ圭太の後援会は、以下の2種類があります。

いそべ圭太後援会 年会費 無料
講演会・バスツアーなどのイベントの開催/会報等の発行/その他

いそべ圭太を応援する会
特典1 オリジナルピンバッチ(初回入会時のみ)
特典2 広報物の定期送付 年会費 1口3,000円
特典3 イベント・行事などの優先案内
後援会活動に加え、座談会・親睦会の開催/その他特別な行事を開催(本人の活動と後援会の活動をご支援ください)

ボランティアスタッフ募集中!

いそべ圭太と共に、これからの横浜の未来と一緒に考え、創っていくため、多くの支援者のみなさまのお力を必要としています。

- 街頭活動 ●ポスティング ●事務所内作業
- 車の運転 ●お知り合いの紹介 ●その他

ポスターの提示にご協力ください!

いそべ圭太の活動や存在を多くの方々にご理解いただくために、みなさまのお宅やお店、駐車場などにポスターの提示をお願いしています。ぜひご協力ください。



詳細・お問い合わせは、下記事務所までお願い申し上げます。

横浜市議員 いそべ圭太 事務所
TEL. 045-337-3331 FAX. 045-337-3332
E-mail. keita-isobe@iso-becchi.com

いそべ圭太の挑戦に、みなさまのお力をお貸しください!

**保土ヶ谷生まれ！
保土ヶ谷育ち！**

生まれ育ったふるさと 保土ヶ谷のために

横浜市は、2019年で約25%の高齢化率になります。横浜市の最大の課題は財政構造であり、個人市民税への依存度が高すぎるのが課題です。

このままでは、団塊の世代の本格的な引退によって、税収が一気に落ち込む恐れがあります。人口減少社会の到来です。社会構造が大きく変わろうとしている今だからこそ、様々な問題意識の中、持続可能な社会の実現のため、政策を策定しました。

POLICY

1 行政改革・財政改革

- (1) 総人件費の削減
(給与表と等級表の見直し、人事評価制度の見直し、成果主義制度の導入、共済組合の見直し)
- (2) 外郭団体は民営化・廃止をゼロベースで見直し
- (3) 監査制度の見直し
(3分割監査の導入や包括外部監査の拡充等)
- (4) 全事業の見直し
(事業ユニット分析による事業効果の検証)
- (5) 中長期税収シミュレーションの策定とそれを踏まえた事業執行計画の策定
- (6) 公民連携の推進・公共空間のリノベーションによる税収確保
- (7) 新公会計制度への速やかな移行
- (8) 横浜版プライマリーバランスの復活
- (9) 市内分権の推進・区役所へのさらなる権限委譲
- (10) オープンデータのさらなる推進
(公開に当たってのルール整備)
- (11) 職員の積極的な人材開発
(ファシリテーターの養成、海外都市との人事交流、民間企業との人事交流、国内大学院派遣の促進等)
- (12) 民間人の積極採用

POLICY

2 議会をイノベーション

- (1) 議員報酬の見直し
(議員報酬も含め議会経費全体の削減)
- (2) 議会基本条例の見直し
(一問一答方式、総括方式の導入など)
- (3) 政務活動費の見える化(ネット公開)
- (4) 議会活動の見える化
(会派ウェブサイトのさらなる充実、政策公聴会の実施等)
- (5) 議会版BCPの策定(災害時の議会の役割を定義)

POLICY

4 まちづくり・観光・経済をイノベーション

- (1) 横浜版BIDの導入による民間主導の再開発スキームの導入
(みなとみらい、エキサイトよこはま等が対象)
- (2) バイオ分野に特化した企業誘致(国家戦略特区との連携)
- (3) 東京オリンピックを契機にした事業についての見直し
- (4) 地域特性に合わせた郊外部団地再生計画と住宅施策の策定
- (5) 老朽建築物、空き家のリノベーションによる地域再生と賑わい創出(小さな経済圏の創出、女性の起業支援、多世代交流等)
- (6) 民間活力の導入を基本とした公共空間のリノベーションによる賑わい創出と多世代交流の創出
(公園や図書館へのカフェの併設、コワーキングスペースの併設を可能にするための規制緩和)
- (7) 補助金に頼らない商店街活性化の推進
- (8) 近距離居住の推進(子世帯、孫世帯の税制優遇の検討等)
- (9) 中古住宅市場の育成と地元経済の活性化

POLICY

3 教育・子育てをイノベーション

- (1) 小学校英語教育へのフォニックスの導入
- (2) ICT導入による習熟度学習の実現
- (3) 2020年の大学入試改革を見据えた教育プログラムの見直し
- (4) 経済格差による学力格差解消へ就学支援の充実
- (5) 民間人校長の積極採用
- (6) 中学校給食の実現
- (7) 中高一貫校の募集要項の見直し
- (8) 公民連携による図書館機能の充実
(図書館のあり方を見直し)
- (9) 地域が支えるコミュニティスクールの充実とシニア人材の活用
- (10) 部活動の見直し(活動時間の見直し、外部指導員の拡充等)

POLICY

5 健康・福祉をイノベーション

- (1) 在宅医療制度のさらなる促進・地域包括ケアシステム
- (2) 青少年の自立支援の拡充(若者就労支援)
- (3) 社会的養護について里親など家庭養護の充実と特別養子縁組の認知・活用の促進
- (4) 喫煙禁止モデル地区の拡大・普及
- (5) 孤独死を減らすための警察、区役所、各種サービスの連携
- (6) 原発事故に起因する放射能対策の継続
- (7) ユニバーサルデザインの理念に基づいた施策の促進